

第39回東海悪性リンパ腫研究会

● 2024年2月17日(土) 15:30~17:30

● Zoom回線を用いたWeb配信を同時に実施いたします。

本会へのご参加を希望される先生におかれましては以下のメールアドレスにご連絡ください。折り返し返信させていただきます。

連絡先: tokai-malignant-lymphoma@chugai-pharm.co.jp

Opening remarks

15:30~15:35

東海悪性リンパ腫研究会 代表世話人 山本 一仁先生

一般演題

15:35~16:35

座長: 名古屋市立大学大学院医学研究科 臨床病態病理学

教授 稲垣 宏先生

「組織学的検討はplasmablastic lymphomaであったが、臨床経過はindolentで primary extraosseous plasmacytomaになるのか悩んでいる免疫染色ではCD138陰性の形質細胞腫瘍の一例」

一宮市立市民病院 血液内科 西山 誉大先生

「反応性病変との鑑別に難渋したT濾胞ヘルパー細胞形質を伴う

節性末梢性T細胞リンパ腫の一例」

名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学

藤原 慎二先生

特別講演

16:35~17:35

座長: 名古屋大学大学院医学系研究科 臓器病態診断学

教授 加留部 謙之輔先生

「造血器腫瘍臨床における遺伝子パネル検査の展望」

演者: 九州大学大学院医学研究院 プレシジョン医療学分野

教授 前田 高宏先生